

情報公開文書

課題名：膵頭十二指腸切除術の治療成績向上に関する研究
研究期間：倫理委員会承認日～2025年12月31日

1. 研究の対象

2003年1月以降に膵頭十二指腸切除術を受けられた膵臓癌の方

2. 研究目的・方法

膵頭十二指腸切除術は主に膵頭部領域の悪性腫瘍(膵頭部癌、遠位胆管癌、十二指腸乳頭部癌、十二指腸癌など)に対する根治手術として確立しています。また、膵頭十二指腸切除術は腹部手術の中では難易度の高い手術であり、周術期合併症の頻度は比較的多く、時として生命を左右します。短期的な合併症としては、膵漏、縫合不全、腹腔内感染、腹腔内出血、および胃排泄遅延が知られており、入院期間の延長に関係しています。癌診療の質の向上に伴い、長期生存の患者さんが次第に増える傾向にあり、糖尿病の発症、肝内結石の形成、逆行性胆管炎などの長期的な合併症が問題になってきています。近年の高齢化社会においては、複数の併存疾患を有する、あるいは80歳を超えるような身体予備能の低下した患者さんが治療対象になることも増えています。手術適応の評価と周術期管理がますます重要となっています。膵頭十二指腸切除術を受けた患者の治療成績を検証し、治療の対象となった患者さんの特徴、手術の詳細・工夫、手術に伴う短期的、および長期的な合併症を明らかにします。また、術後の合併症、術後の生存、および生活の質に関係する因子を検討します。膵頭十二指腸切除術の治療意義について再考するとともに、時代に即した手術の適応、および安心・安全な手術の方策、周術期管理について、さらなる改善を提案します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、血液検査結果、画像診断結果、治療歴、合併症の発生状況、病理結果、現在の状況 等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
浜松医療センター 消化器外科 田村 浩章(研究責任者)
静岡県浜松市中区富塚町 328
TEL:053-453-7111(代表)